

内視鏡検査専用マスク

MaScope

マスコープ



現役
内視鏡医
監修

飛沫感染対策製品 . . .

上部消化管や呼吸器・耳鼻科領域の内視鏡検査時の
咽頭反射の咳・くしゃみによる飛沫拡散を大幅に低減！



3層構造で飛沫や唾液をキャッチ
2層の不織布+吸水シートの3層構造で、
飛沫や唾液をキャッチして、拡散をブロック。



安心の DISPOSABLE
一回毎の使い捨てだから、
簡単・便利で衛生的。



被験者にやさしい設計
呼吸を妨げない肌ざわりのよい素材と
触れる部分の少ない立体形状で、
着用時の違和感を大幅に軽減。



被験者の不安を軽減
わかりやすい感染対策で、
被験者の不安も和らげることができ、
費用対効果が大きい。



内視鏡の操作性へのこだわり
経口、経鼻ともにアプローチしやすい
位置の内視鏡挿入孔から、口元や鼻孔を
確認しながらの挿入が可能。

【問い合わせ先】

ユフ精器株式会社 インターベンション事業部
〒113-0034 東京都文京区湯島二丁目31番20号

電話: 03-3811-1131

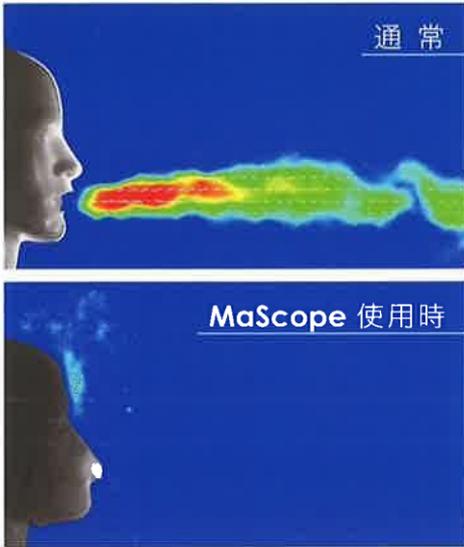
E-mail: xray.info@yufu.co.jp

飛沫の拡散による内視鏡室の汚染を低減し、術者を保護します

可視化した呼気の拡散比較実験

協力：千葉大学大学院工学研究院 田中・太田研究室

0.0 m/s  1.3 m/s



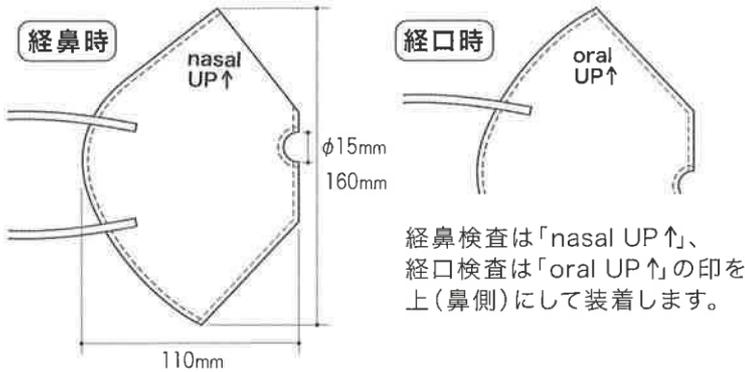
MaScope 着用により、呼気に見立てた水蒸気の拡散が低減していることがわかります。



MaScope 開発ストーリー

昨今、日常のマスク着用は必須となりました。一方で、内視鏡検査の際は、被験者に従来のマスクをしていただくことは難しく、スタッフは飛沫感染のリスクと常に隣り合わせです。また、被験者の方々も同じ不安を抱えていることがわかりました。被験者、スタッフともに、少しでも安心した気持ちで内視鏡検査を実施していただきたい。その想いで **MaScope** を開発するに至りました。是非、日常の診療にご活用いただければ幸いです。

着用イメージと使用上のポイント



経鼻検査は「nasal UP ↑」、
経口検査は「oral UP ↑」の印を上（鼻側）にして装着します。



左右の鼻孔の入れ間違いに注意してください。



マウスピースは予めテープで固定しておくことをお勧めします。



病変までの距離を測る際には、挿入口から切歯や鼻孔までの長さを確認しておく必要があります。

潤滑ゼリーはガーゼに取り、スコープに薄く塗布すると挿入がスムーズです。

内視鏡検査時のMaScope着用による不快感はありましたか？

アンケート数：102票



- ない／あまりない
- どちらでもない／ややある

不快感があると答えた方は **0名**

体験モニター様の声より (一部抜粋)

- ・むせて咳をしても飛沫が飛ばない安心感がある。
- ・大きく呼吸をしても苦しくない。
- ・唾液を心配せず出せて、恥ずかしさも軽減される。
- ・鼻や口周りが包まれているので、守られているようで気持ちが落ち着く。
- ・何もつけないときの不安感がない。